

## 2012 年度 東海支部 YFE 工場見学会

2012 年 10 月 31 日に、今年度の工場見学会を、虹技株式会社様のご協力をいただき、同社姫路東工場、姫路西工場を会場に実施した。当日は、新規加入会員および Casting カレッジ受講者からの参加も含め、22 社 40 名の方にご参加いただいた。

バスにて姫路東工場到着後、虹技株式会社 谷岡取締役総務部長様からのご挨拶、その後、越中取締役小型鋳物事業部長様より会社概要をご説明をいただいた。社名の「虹技」とは、同社の七つの事業を七色の虹になぞらえたことに由来するものとのことである。このうち鋳造関連は、大型鋳物、小型鋳物、デンスパー、ロールの 4 事業であり、「大きな鋳物から小さな鋳物まで、多種多様な鋳造プロセスによる鋳鉄鋳物生産」が同社の特徴であり強みであるとのこと説明をいただいた。

その後、4 班に分かれ、姫路東工場の大型鋳物とデンスパー、姫路西工場の小型鋳物とロールの製造工程を、それぞれ見学させていただいた。

大型鋳物工場では、フラン自硬性のフルモールド、木型造型により最大 160 トンにもおよぶ鋳塊用鋳型および自動車用金型、産機部品用鋳物生産を見学した。模型に発泡スチロールを使用する製品が多いため、相当慎重に鋳型の造型をされており、フルモールド法による数トンにも及ぶ鋳物を生産する難しさを、目の当たりに出来た。

デンスパー工場では、主に油圧・空圧機器に使用される連鋳棒の製造工程を見学した。鋳造は早朝～午前中に行うとのことであるが実際の作業は見学できなかったが、500φ、500□までの連鋳棒を内部まで完全無欠陥で生産するための、貴重なお話を伺えた。

小型鋳物工場では、生型および V プロセスによりマンホールなどが生産される様子を見学した。それぞれの生産ラインを前に、説明ご担当者の方と見学者との間で、活発な質疑が行われた。

ロール工場では、縦型遠心鋳造、横型遠心鋳造、置き注ぎによるロール生産の工程を見学した。ロールはその用途により仕様が全て異なるため、化学成分、鋳造条件、鋳造プロセスなど、それぞれの製品により全て変える必要があるとのことであった。

今回は、募集開始早々に定員に達し、多くの参加希望者をお断りしなければならないという、うれしい誤算もあった。これも、同社の多彩な生産プロセスが、他の鋳造工場にはない、大きな魅力であることの証左であろう。

最後になりますが、今回の工場見学会開催にあたり、お忙しい中多大なご協力をいただきました虹技株式会社様に、厚くお礼申し上げます。

(新東工業株式会社 大羽 崇文)

